

4年生社会科 「きょう土のはってんにつくす」

深江新田のひみつをさぐろう



江迎小学校 4年生

平成29年12月14日(木) 授業参観でのまとめ

調べること・調べる方法

(1)「新田は、元は海だったのか。」

- ①地図で調べる。
- ②見学に行って、波やけずったあとのがけや貝がらなどの、昔、海だったしょうこを見つける。
- ③本やインターネットで調べる。(鹿町町、江迎町郷土誌)

(2)「新田は、どのようにして作ったか。」

- ①本で調べる。(鹿町町、江迎町郷土誌、わたしたちの佐世保市)
- ②新田に作ってあるものをさがして、じっさいに見て調べる。
- ③昔のことを知っている人に聞く。(校長先生)

(3)「新田は、なぜ作ったか。」

- ①本で調べる。(鹿町町、江迎町郷土誌、わたしたちの佐世保市)
- ②昔のことを知っている人に聞く。(校長先生)

深江新田



深江新田



深江新田



江迎商店街

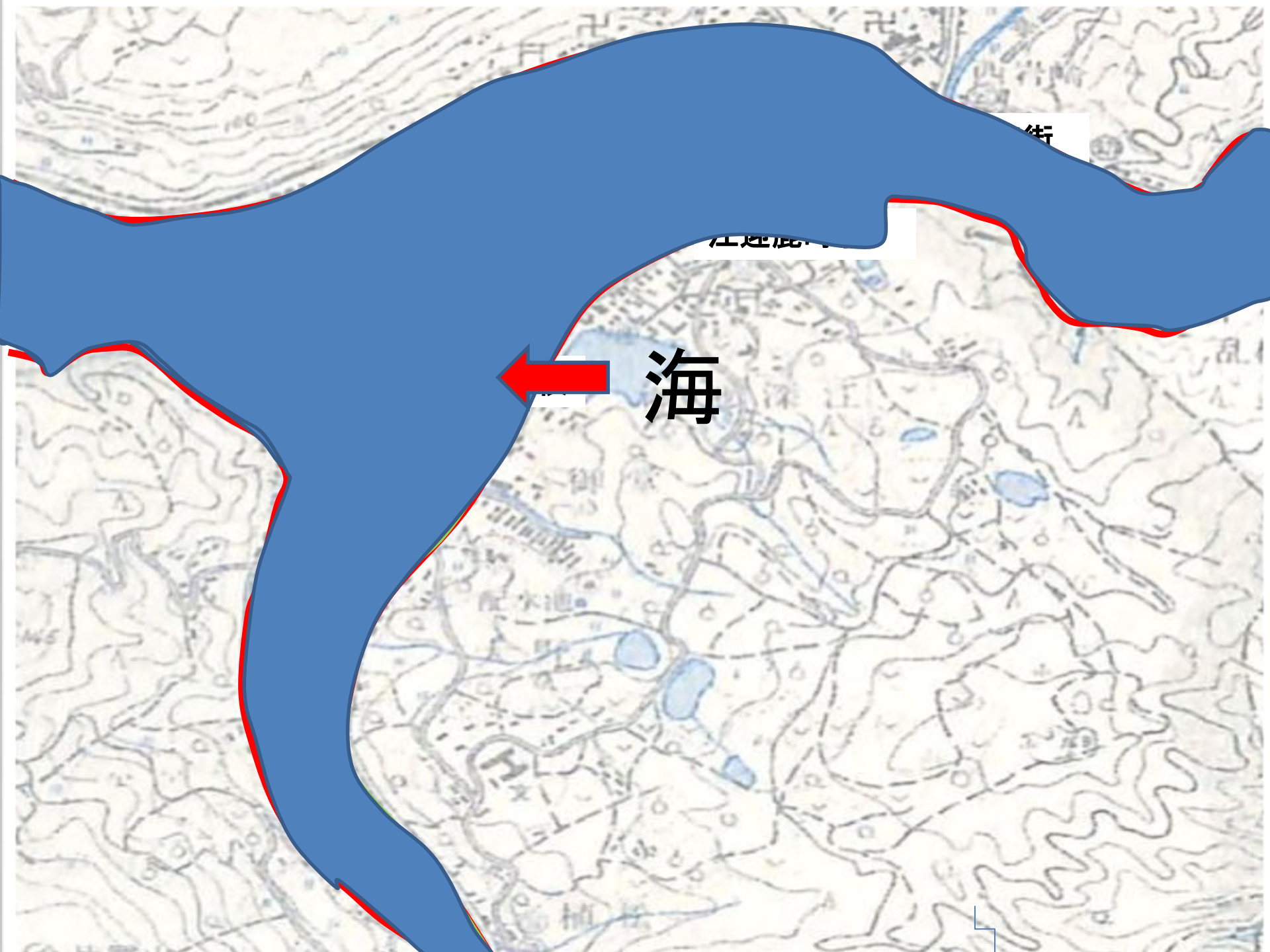
江迎鹿町駅

鹿町工業高校



深江新田は、昔は海だった？

- ・地図で見たら、昔は海が広がった。



深江新田は、昔は海だった？

- ・地図で見たら、昔は海が広がった。
- ・昔の海と陸の境は、急ながけになっている。



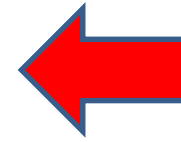
海と陸の境目



海と陸の境目

深江新田は、昔は海だった？

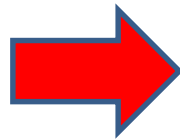
- ・地図で見たら、昔は海が広がった。
- ・昔の海と陸の境は、急ながけになっている。
- ・干潮と満潮の差を利用した。干潮の時は、海の底が見えていた。（がたが広がっていた）



干潮の時

3m程の差

満潮の時

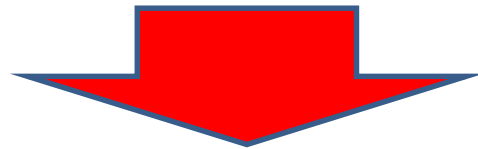


海の底(がた・潟)



深江新田は、昔は海だった？

- ・地図で見たら、昔は海が広がった。
- ・昔の海と陸の境は、急ながけになっている。
- ・干潮と満潮の差を利用した。干潮の時は、海の底が見えていた。（がたが広がっていた）



干潮の時は、海の底が見える
浅い海に作られた深江新田！

いつごろ、だれが作ったか？

- ・作った人（現場の責任者・石工）
→石山頓平さん（いしやまとんぺい）
- ・作ることを計画し進めた人
→平戸のお殿様・観中公熙（かんちゅうこうひろむ）
- ・いつ→今から390年くらい前
1606年に潮受けてい防の工事開始、3年後
の1609年に工事終了（汐止めに成功）
それから、数年をかけて田んぼづくりを行った。

記念碑

- ・深江新田の歴史について書かれている
（観中公熙、石山頓平さん）

記念碑



深江新田水門付近にある記念碑



昔ながらの石垣
(頓平の投げ築き?)



なぜ、作ったか？

- ・貿易で栄えた平戸が、貿易ができなくなったため、新田開発をしてお金をかせごうとした。
- ・田んぼを作ると米がたくさんとれる
- ・お金がふえて、人々の生活がよくなる。
- ・人口もふえる。



新田がたくさん作られた。

深江新田地図 (新田にある物)

①潮受けてい防



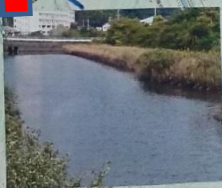
④水神様



③水門



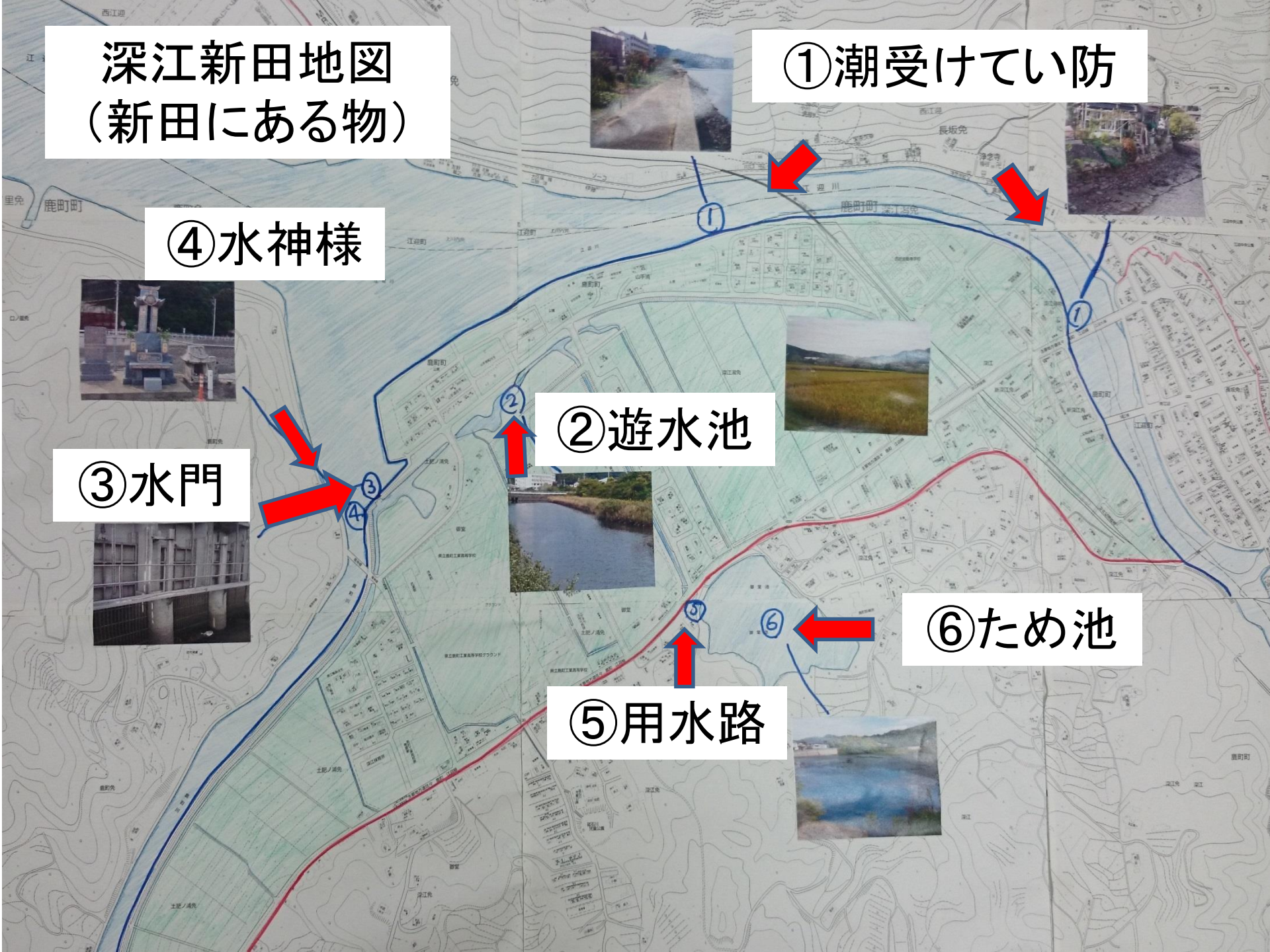
②遊水池



⑥ため池



⑤用水路



潮受けてい防

海の水が田んぼに入らないよう
にせきとめるもの

昔ながらの潮受けてい防



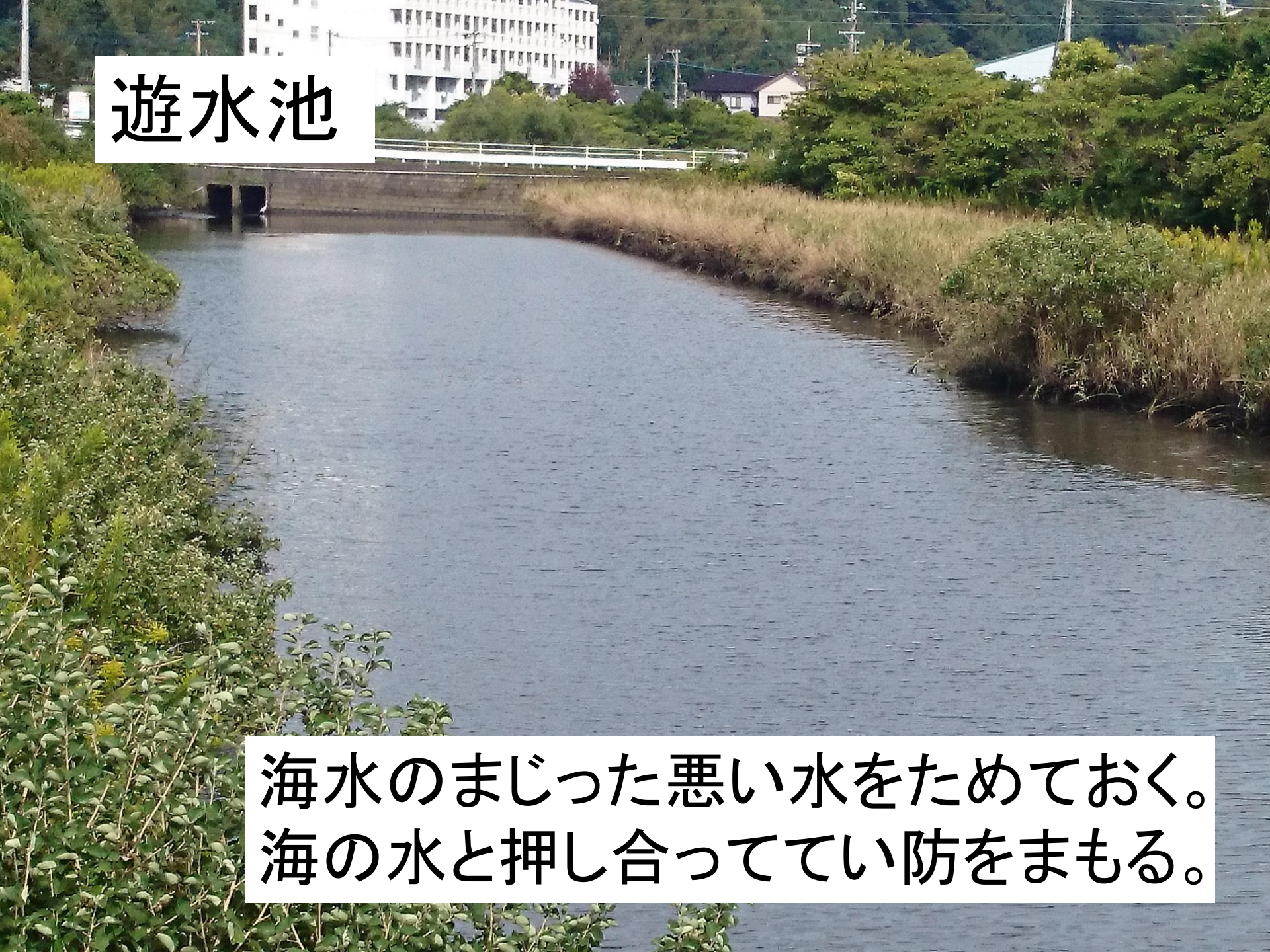
石垣は海の水でてい防が流されることを防ぐため築かれた。石は近くでとれる砂岩。

水 門



新田の中の水を出し、海の水が入らないようにする。

遊水池



海水のまじった悪い水をためておく。
海の水と押し合っていてい防をまもる。

水神様

新田完成のお祝いと、てい防がこ
われないように祈って作られた。

ため池

田んぼで使うきれいな水をためておく池。

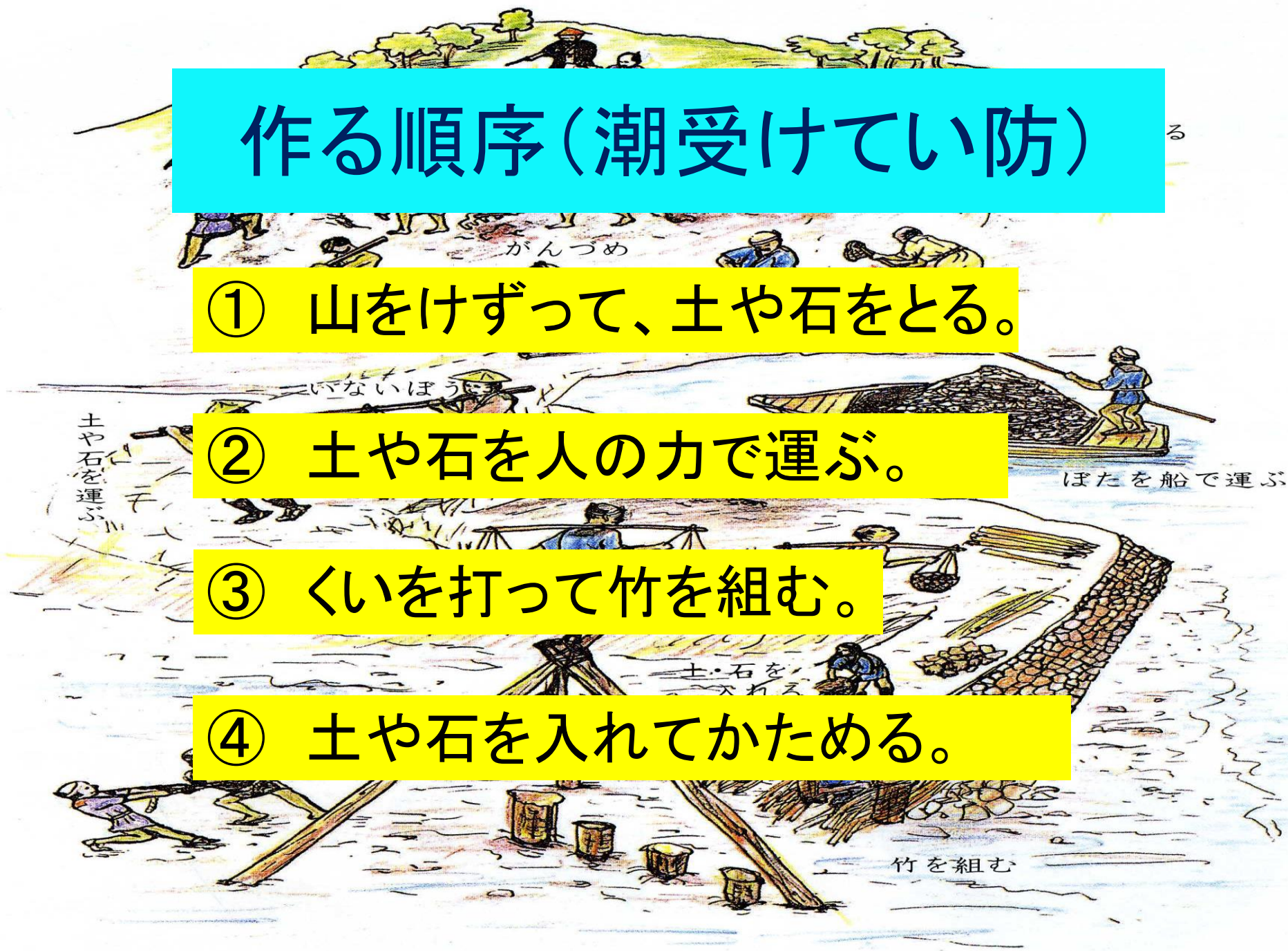
作る順序（潮受けてい防）

① 山をけずって、土や石をとる。

② 土や石を人の力で運ぶ。

③ くいを打って竹を組む。

④ 土や石を入れてかためる。

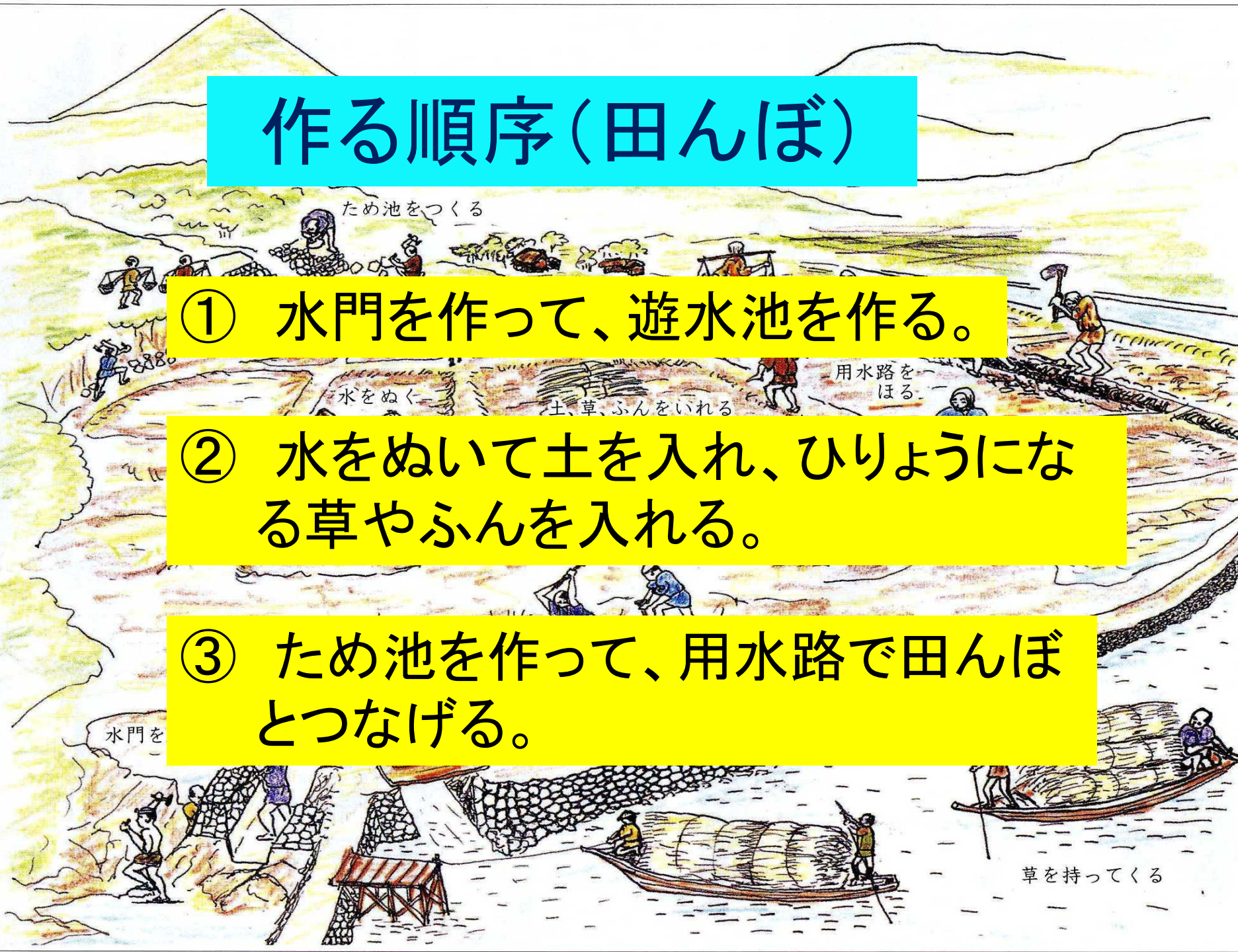


作る順序(田んぼ)

① 水門を作って、遊水池を作る。

② 水をぬいて土を入れ、ひりょうになる草やふんを入れる。

③ ため池を作って、用水路で田んぼとつなげる。



ほる・集める

運 ぶ

打つ・ほる

がんづめ・くわ・
つるはし

ほげ・いないぼ
う・もっこ

石のみ・木づち
・げんのう

土をほる道具

- ・ がんづめ
- ・ くわ
- ・ つるはし



パワーショベル

運 ぶ 道 具

- ・ ほげ
- ・ いないぼう
- ・ もっこ



ダンプカー

あなをほる道具

- ・ 木づち
- ・ 石のみ
- ・ げんのう



ドリル

ショベルカー

ダンプカー

ドリル

作るときにくろう

- ・たくさんの人の力がひつよう。
- ・できるまでに長い時間がかかった。
- ・すべて手作業でたいへんきつい作業だった。
- ・台風などで、作るとちゅうにこわれたりした。
- ・お金ももらえず、ただではたらかなければならなかった。



でも、生活をよくするためにがんばった。

きょう土の発展につながった？

①田んぼができて、お米がたくさんとれるようになった。平戸・江迎が豊かになり、人々のくらしがよくなった。そして、人口も増えた。

田んぼとして利用

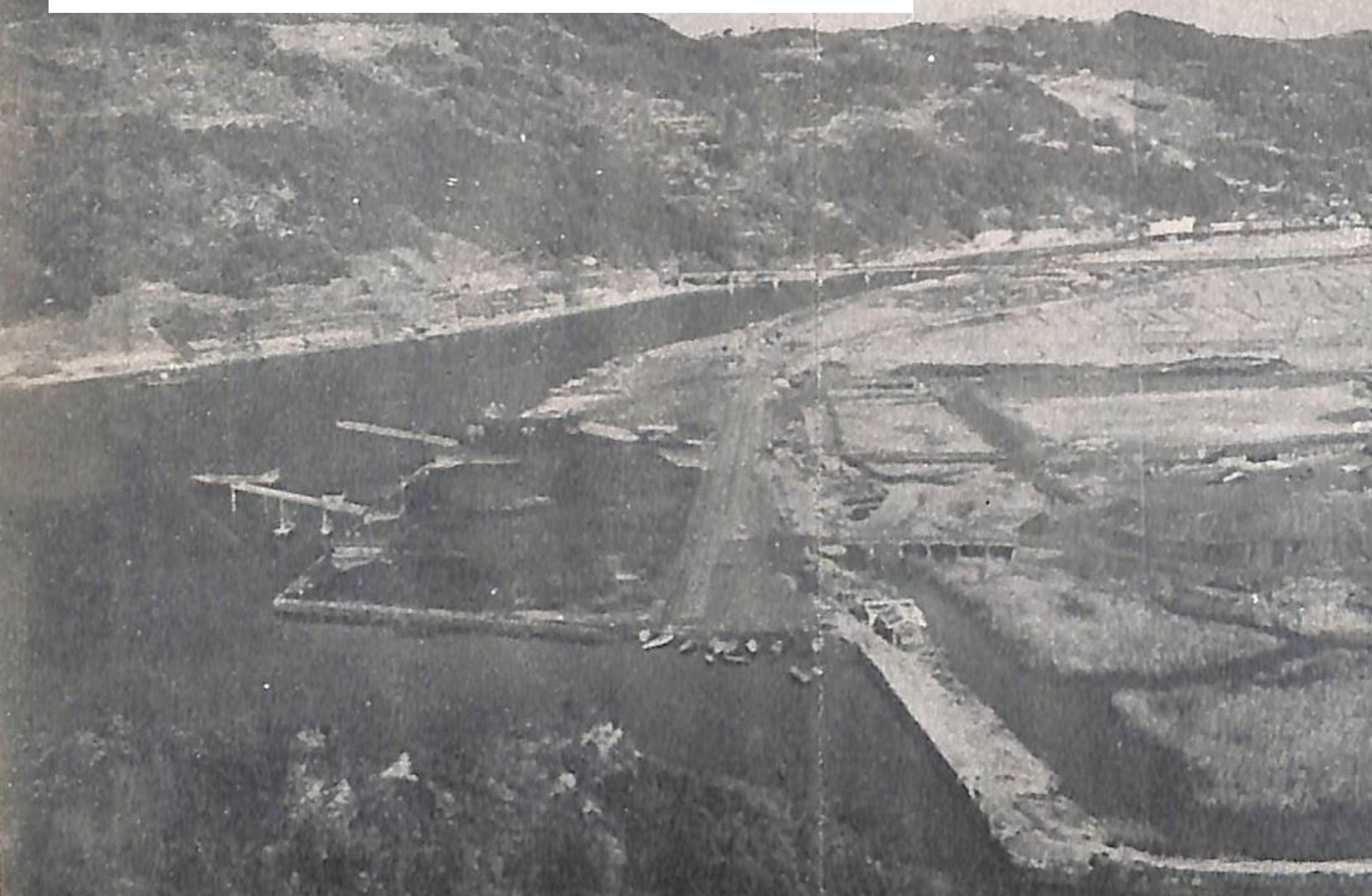


きょう土の発展につながった？

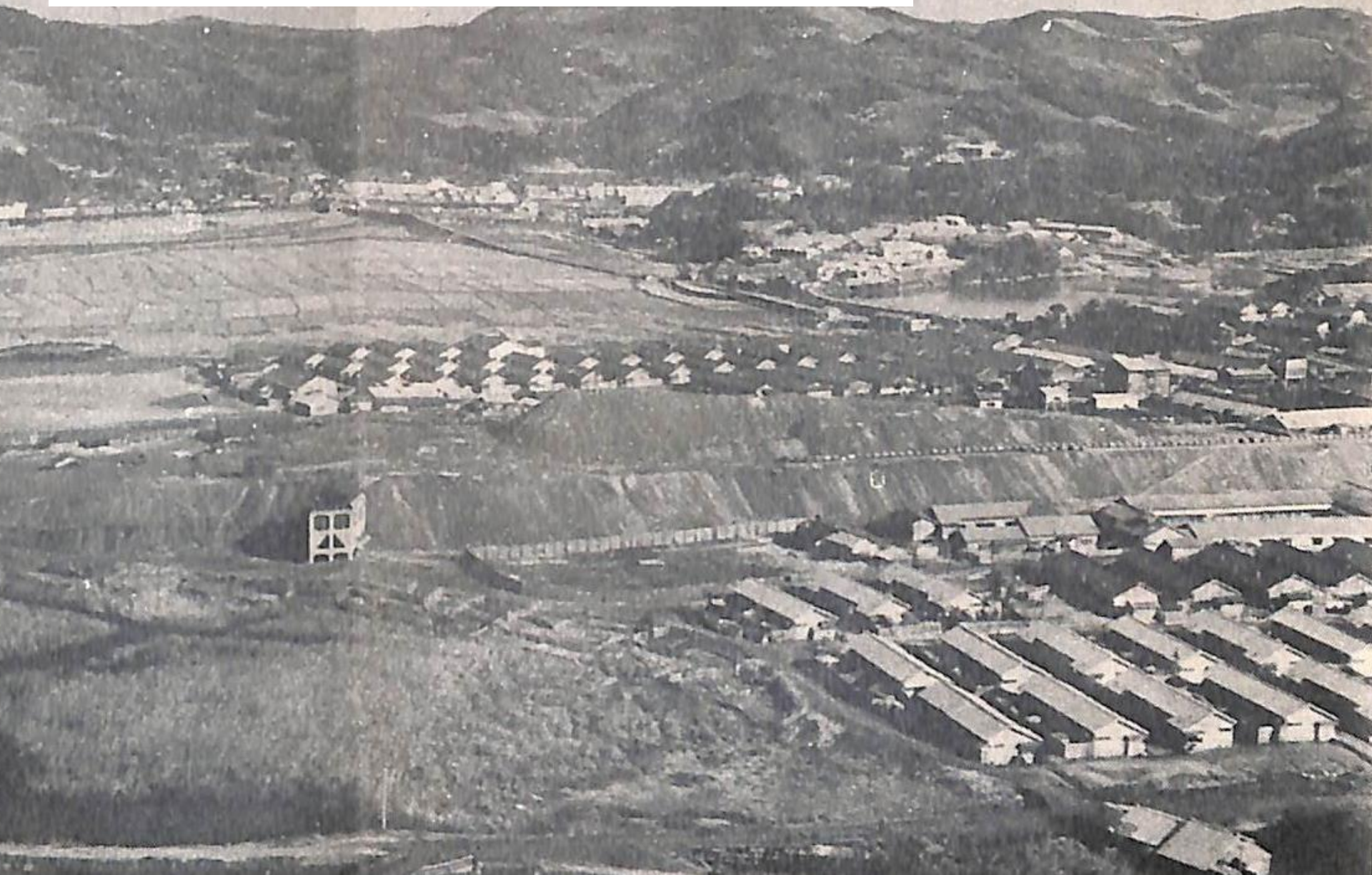
①田んぼができて、お米がたくさんとれるようになった。平戸・江迎が豊かになり、人々のくらしがよくなった。そして、人口も増えた。

②この土地を利用して炭鉱が発展した。多くの人に移り住み、町がにぎわった。

炭鉱の土地として利用①



炭鉱の土地として利用②



きょう土の発展につながった？

- ①田んぼができて、お米がたくさんとれるようになった。平戸・江迎が豊かになり、人々のくらしがよくなった。そして、人口も増えた。
- ②この土地を利用して炭鉱が発展した。多くの人に移り住み、町がにぎわった。
- ③住宅や工場、学校などが建てられ、新しい町に生まれ変わった。

住宅地として利用



工場用地として利用



学校用地として利用



きょう土の発展につながった？

- ①田んぼができて、お米がたくさんとれるようになった。平戸・江迎が豊かになり、人々のくらしがよくなった。そして、人口も増えた。
- ②この土地を利用して炭鉱が発展した。多くの人に移り住み、町がにぎわった。
- ③住宅や工場、学校などが建てられ、新しい町に生まれ変わった。



人々のくらしを支え続けた**深江新田**

おしまい

